












セーターの洗い方 洗剤:アラウル 柔軟剤:ウルケア 漂白剤:ウルブリーチ

			
1) シンクに 30℃のぬるま湯 10ℓ 注ぎ重曹 小さじ 1 杯とアラウル 10~15 cc、ウルブリーチ 小さじ 2 杯投入	2)セーターを大きくたたみ 5~10 分間漬け込みます。	3)おひたしを絞る要領で洗います。	4)厳禁動作 揉み洗い/ねじり絞り ブラッシング
			
5)栓を抜き排水します。おひたしを絞る要領で水を切ります	6)シンクに 30℃のぬるま湯 10ℓ 注ぎクエン酸 少々入れ濯ぎます。	7)栓を抜き排水します。おひたしを絞る要領で水を切ります。	8)30℃のぬるま湯 1ℓ にウルケア 5cc 入れます。
			
9)おひたしを絞る動作でリンスします。	10)脱水します 羊毛 1分 カシミア・アルパカ 2~3分	11)蒸気アイロンの蒸気を掛けて小じわを取ります。	12) ビニールクロスを敷いたテーブルに平に干しますとシワの発生が少なく乾き上がります。

毛・絹製品を水で洗うと染料が溶出しますが、衣類が薄くなる心配はありません。

**縮みを最小限にするコツ**「洗い・濯ぎ・柔軟加工に使う水の温度を同じにする」ことです。

ドライクリーニングを指定してある衣類でも水で洗えるものも多く存在しますが、慎重に洗っても衣類によって縮みが起こることがあることも考慮して行ってください。

**ドライマークでも洗える衣類**

- ポリエステル生地(表地・裏地・中綿)・ナイロンは洗うことが可能で、縮みはまず起こりません。  
コート・ブルゾンなどが該当します。毛皮のトリミングは、外し拭いてお手入れ
- 水洗い対応となっているスーツも洗うことが可能です。  
購入の際、水洗い対応・ウォッシュャブルを選びますと宜しいです。  
夏場は大変汗をかきますのでご家庭でその都度、水で洗うと大変衛生的です。

**不可能な製品**

- 東南アジア産のシルク(染色が落ちる)
- レーヨン(水洗い可能表示の製品は O.K)
- アンゴラ製品・テンセル(脱色が著しいため)・キュブラ・皮革製品・和服等特殊衣類

## ダウンジャケットの洗い方 洗剤:アラウル 柔軟剤:ウルケア 漂白剤:ウルブリーチ

一度この説明書を、すべて目を通してから洗濯ください



右図のように裏返しにして洗いますと水の抜けが良好です。

### 渦巻き式洗濯機 1着当たり 予洗→脱水→本洗→濯ぎ2回→柔軟加工→脱水

**予洗** 膨らみを収縮させるため、約30L30℃のぬるま湯に重曹大さじ2杯入れて右図の通水カップで10回予洗いをし、1～2分脱水します。(100円ショップで入手できます)



**本洗** 約30L水温30℃ 風呂水ON

適正水位になったらアラウル30cc ウルブリーチ大さじ1杯投入 2着洗いは各2倍量以上を入れて洗濯機を運転させ1分ほど攪拌します。少し泡が消えた場合は、洗剤10ccを目安に徐々に追加し、水面にうっすらと泡が立つように微調整してください。10分ほど浸け置きして襟・袖口等汚れていましたらブラシ掛けをします。

**衣類が浸かっている場合** 洗濯機による自動運転

洗い5分 濯ぎ2回(洗剤BOXにクエン酸小さじ半杯/柔軟剤BOXにウルケア20cc) 脱水3分

**衣類が浮いている場合** 押し洗い

通水カップで押し洗い10～20回 濯ぎ2回(1回目にクエン酸小さじ半杯/2回目ウルケア20ccを入れて馴染ませる) 脱水3分

**乾燥** 機械乾燥は必須です

乾燥機をお持ちでしたら20～30分乾燥します。乾燥の目安は80%ほどで後は自然乾燥してください。お持ちでない場合は、コインランドリーの乾燥機(3～5点乾燥可能)をご利用ください。自然乾燥はダウンが蒸れてしまいますので、洗濯と機械乾燥を連続して行うようにしてください。完全に乾いたらダウンの偏りを手でほぐして均一にします。最終的に2～3分乾燥機に掛けますと一段と高高に膨らみます。

### ドラム式洗濯機

**予洗** 水温30℃ 高水位 重曹大さじ2杯 洗剤時間2分→脱水2分 膨らみを収縮させます

**本洗** 洗い5分高水位 水温30℃(洗剤BOXにアラウル30cc ウルブリーチ大さじ1杯)

濯ぎ3回(柔軟剤BOXにウルケア20cc) 脱水3分にセットしてスタート

**応用編** 上記方法でナイロン・ポリエステル等、化学繊維で出来ているジャンパー・コート類はドライクリーニング指定でも洗うことが出来ます。脱水は30秒から1分ほどの短めにしていただくとシワが発生しません。中綿がある場合は2分ほど脱水してください。乾燥機をお持ちでしたら5分ほど掛けて、後に自然乾燥して下さい。脱水後、ハンガーに掛け裾を軽く引っ張りながら蒸気アイロンを掛けると小じわが伸びて乾いた時にほとんどシワが無く乾き上がります。

羽毛布団類も同じようにして洗うことが出来ます。大きさに応じて水量や洗剤の量を増量して洗濯ください。濯ぎを2回して脱水、その後、また25℃の水を布団が浸る量を入れ柔軟剤を50cc入れて手で施して馴染ませ5～7分脱水して乾燥してください。

## ネクタイの洗い方

使用資材 洗剤:アラウル 柔軟剤:ウルケア 糊剤:パリット 漂白剤:ウルブリーチ

		
<p>洗面器に 1ℓ・30℃の水を入れ 重曹少々・アラウル 5cc を投入 シミがあるときはウルブリーチ小 さじ半分投入</p>	<p>ネクタイを漬け込みます。5分後 4～5回丁寧に押し洗いをします</p>	<p>洗面器に 3ℓ・30℃の水を入れ軽く 4～5回押し濯ぎをして排水します</p>
		
<p>200mL の 25℃の水にウルケア 2mL パリットを 4mL 入れリンス アップします</p>	<p>ネクタイの表が内側になるように 洗濯槽に立てかけるように配置し ます</p>	<p>1分絞ります</p>
		
<p>タオルで挟んで水分を取ります</p>	<p>このように上から押してください</p>	<p>平滑面に表が下になるようにして シワが出来ないように干します</p>

ガラス面に切手を貼って乾かすように平滑な平面に干しますと、シワが出来ずに乾かすことができます。

翌日、ネクタイが完全に乾きますと仕上げをしなくてもシワが伸びている場合が多いです。シワがありましたら仕上げをします。糊を付けていますので少し硬い感じがしますが、蒸気アイロンを少し浮かしてネクタイと触れるか触れないかのタッチでアイロンをかけますとしなやかになります。プレスの際の蒸気の量は、かなり少なめにするとよいです。

### 注意点

通常、ネクタイはドライクリーニングが指定されていますが、汗や食べこぼし等で水溶性の汚れが除去されずに洗いあがるのが実情です。基本的に「水洗い不可」のマークが表示されていますが、上記の手順に従って洗えるネクタイもあります。生地や織りや染色に影響を最小限にするレシピとプログラムですが、すべてのネクタイが洗浄できるとは限りません。下記のものとは不可能なものがあります。

**縮みやすいネクタイの種類** 朱子織物・ニット製品・糸のざっくりとしたもの

スーツ洗い 洗浄剤:アラウル 柔軟剤:ウルケア 糊剤:パリット 漂白剤:ウルブリーチ

		
15L 水温 30℃に重曹を小さじ1杯投入	アラウル 20mL 投入 ウルブリーチ 大さじ1杯入ると除菌可能	5分漬け込み後、押し洗い 排水し軽く押し絞ってください
		
15L 水温 30℃にクエン酸を小さじ半分入れて押し濯ぎをします	2ℓの水温 25℃のぬるま湯にウルケア 10mL 投入	更にパリットを 20mL 投入します。
		
柔軟&糊付けをします	襟同士を合わせて引き上げます	洗濯槽に均一に配置
		1分間脱水します 脱水後、ハンガーアップして蒸気アイロンを掛けますと小じわがほとんど伸びて、場合によっては乾いた時にアイロン不要となります

●縮みを最小限にするコツは、洗浄と濯ぎの時の水温を同一にすることです。

●**ドライマーク製品を水で洗うことはケースバイケースです。**

洗うことは上記工程に説明されているように高度な技術を必要としませんが、「水で洗えるか洗えないかの仕分」が一番重要です。紺ブレザーに代表されるような糸が細く撚りがしっかりとしている生地は、縮みが起こりにくいですが、ツイードや杉綾のジャケットのようにざっくりとした糸で出来ている衣類は縮みやすい傾向にあります。また、ダッフルコートやカシミアコート(下画像)も上記工程で洗える場合もあります。



エコショップ ecomo 代表 木内茂二  
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 5-16-12  
TEL:03-3868-2963 FAX:03-3868-3113  
<http://www.kiuchicleaning.com>